

マスコミを活用して、共同電子出版サポート事業の広報活動を展開！

電子出版社ハッカドロップス（愛知県）

名古屋市にて、電子出版事業を営む個人事業者。電子出版希望者の出版と出版後のPRや販売をサポート。

1. 相談のきっかけ

- ・2014年10月、愛知県一宮市のいち信用金庫の紹介を受け来訪。
- ・電子出版会社を立ち上げたが、知人からの受注にとどまっており、どのように販路を拡大していけばよいか相談。

2. 課題整理・分析

- ・電子出版は、従来の自費出版に比べて、低料金で手軽に出版できる特長があるが、企画や編集まで全て個人で行うには、時間や労力の負担が大きい。
- ・電子出版希望者のこうした負担を軽減するために、同業の「でんでんむし出版」と共同で、電子書籍化をサポートする新事業を実施予定であった。
- ・新事業をどのように普及するか、電子出版そのもののマーケット自体をどのように拡大するかが課題であった。

3. 解決策の提案

- ・本企業の強みを整理。
- ・他の広告宣伝方法と比べ安価で実施できる経営者のプロモーションツールとなることに着目し、新事業を企業経営者向けに広く知ってもらうために、マスコミの活用を提案。
- ・よろず支援拠点を通じた専門家派遣制度を活用し、当拠点とネットワークのある経済新聞元記者から具体的なマスコミ対応手法について助言。



4. 成果

- ・本企業と「でんでんむし出版」(代表 傍嶋恵子氏)が共同で電子出版希望者をサポートする「日本電子出版アカデミー」を設立。自費出版希望者に電子出版のノウハウを伝授することや電子出版そのもののマーケットの拡大を図ることを目指す。
- ・本企業の中根代表は専門家からの助言も受け、同アカデミー設立と、電子出版希望者向け無料相談会など電子書籍化のサポートを開始することを中心としたニュースリリースを実施。
- ・これが中部経済新聞に取り上げられ、その結果、大手企業からの問い合わせに現在対応中。業容の拡大に伴い拠点を江南市から名古屋市天白区に移転した。

中部経済新聞 2015年(平成27年)6月2日 火曜日

ハッカドロップス でんでんむし出版

日本電子出版アカデミー設立

電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートする「日本電子出版アカデミー」が、ハッカドロップスとでんでんむし出版の共同で設立された。アカデミーでは、電子出版のノウハウを伝授することや、電子出版そのもののマーケットの拡大を図ることを目指す。

アカデミーの代表理事は、ハッカドロップスの中根代表と、でんでんむし出版の傍嶋代表。アカデミーの設立は、電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートすることを目的としている。

アカデミーでは、電子出版のノウハウを伝授することや、電子出版そのもののマーケットの拡大を図ることを目指す。アカデミーの設立は、電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートすることを目的としている。

アカデミーの代表理事は、ハッカドロップスの中根代表と、でんでんむし出版の傍嶋代表。アカデミーの設立は、電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートすることを目的としている。

書籍化サポート 6日に 初相談会

アカデミーでは、6月6日に初相談会を開催する。相談会は、電子出版希望者から、電子出版のノウハウや、電子出版そのもののマーケットの拡大に関する質問を受け付ける。相談会は、無料で行われる。

アカデミーの代表理事は、ハッカドロップスの中根代表と、でんでんむし出版の傍嶋代表。アカデミーの設立は、電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートすることを目的としている。

アカデミーの代表理事は、ハッカドロップスの中根代表と、でんでんむし出版の傍嶋代表。アカデミーの設立は、電子出版希望者の負担を軽減し、電子書籍化をサポートすることを目的としている。